

大阪湾沿岸

海岸保全施設整備計画 19

ゾ ー ン 名	男里川～箱作ゾーン	エ リ ア 特 性	環境保全・親しみエリア
海 岸 名	阪南市	区 域	貝掛
海 岸 タ イ プ	直立堤防、砂浜	所 管	国土交通省（河川局）
設計高潮位（H.H.W.L）	T.P.+3.0m	波 高 （ H o ）	2.9m
代 表 堤 防 高	T.P.+4.70m	現 況 の 堤 防 高	T.P.+3.80m
現 況 の 施 設	堤防 1,565m、離岸堤 2 基、突堤 14 基		
海 岸 の 整 備 方 針	・防護機能の確保・環境の保全・魅力ある景観創出・海岸利用の促進		
海 岸 の 目 標	海 岸 の 防 護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高潮対策として堤防の高上げ等の改良を行い防護機能を確保する。</li> <li>・侵食に対する長期的な保全対策を講じる。</li> <li>・環境や利用面に配慮した面的防護方式の採用を検討する。</li> </ul>	
	環 境 の 整 備 と 保 全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藻場など貴重な自然環境の保全に配慮した海岸づくりに努める。</li> <li>・貴重な生態系の保全に努める。</li> <li>・自然景観の保全・創出に努める。</li> </ul>	
	公 衆 の 適 正 な 利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事や活動、海の体験などに利用できる海岸づくりを進める。</li> <li>・多くの人達が海辺と親しむことができるよう、安全で快適なアクセス路の確保やバリアフリー化を進める。</li> </ul>	
整 備 の 必 要 性	堤防の天端高の不足箇所について、高潮防護機能を確保する必要がある。また、砂浜の残る半自然海岸を保全活用し、多くの人々が海と親しむことのできる海岸づくりが必要である。		
整 備 計 画 の 概 要	<p>天端高の不足箇所について堤防の改良を行うとともに、潜堤、養浜を行い長期的な侵食防止にも配慮する。また、整備にあたっては生物の生息の場の確保、海岸景観の向上、海辺へのアクセス性と親水性向上に配慮するものとする。</p> <p>(1) 整備海岸延長 : 740m</p> <p>(2) 整備内容 : 堤防（改良） 潜堤、養浜</p>		
住 民 意 見	・海への眺望の確保		
期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防等の改良により、高潮・侵食などから背後地の安全性の向上が図られる。</li> <li>・海岸景観の向上が図られる。</li> <li>・多くの人達が海に親しむことができる場が創出され、また地域の活性化が図られる。</li> <li>・安全で快適なアクセス路の確保やバリアフリー化により、海への親しみが増す。</li> </ul>		
海 岸 管 理 に お け る 配 慮 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸保全施設の適切な維持管理や高潮や、津波などによる災害時の対応などソフト面の対策強化の推進</li> <li>・ゴミなどの不法投棄、汚損などの防止対策の推進</li> <li>・地域との協力による環境維持の推進</li> <li>・海岸利用者のためのマナー向上のための啓発活動の推進</li> <li>・海岸利用のルールづくりの推進</li> <li>・海岸愛護、ボランティア活動の支援</li> </ul>		

【現況写真】



位置図



【平面図】

<凡 例>

- 海岸保全施設の新設に関する工事を施工しようとする区域
- 既設の海岸保全施設の存する区域
- 既設の海岸保全施設の改良に関する工事を施工しようとする区域

